授業科目名	精神保健看護実習			担当教員	石飛 マリコ、高瀬 理恵子、 高橋 清美
開講年次	3年後期	セメスター	6	時間数(単位数)	90 (2)
必修選択	必修	授業形態	実習	使用教室	
授業の目的	精神疾患をもつ人々とその家族に対する精神看護の展開方法ならびに基礎的能力を獲得する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対象の病状を理解し、精神に障害をもつ個人およびその家族の状況が理解できる。 2. 患者－看護者関係の発展過程を理解し、治療的関わりを通して、よりよい援助的人間関係を築く努力ができる。 3. 精神に障害をもつ人の尊厳を重視した倫理的行動の重要性を理解できる。 4. 対象のセルフケア能力をアセスメントし、主体性を尊重した援助を行うことができる。 5. 家族および医療チームメンバー間の協力関係の必要性を理解できる。 6. 地域における精神保健福祉のサポートシステムの現状について理解できる。 7. 精神に障害をもつ個人および家族に対する看護の役割を総合的に理解し、そのあり方についての自己の考えを述べることができる。 				
ディプロマポリシーにおける科目の位置づけ	<p>本科目は、これまでの机上の学習を統合する科目である。精神看護の場面で人間を尊重することを検討することから「人間の尊厳と権利を擁護する力」を養成する科目である。看護を必要とするひとびとのニーズを的確にとらえ、チームの一員として精神看護を実践することから、「問題解決力」「チームで働く力」を養成する。精神看護を必要とするひとを取り巻く社会背景を理解し、課題を検討する「看護の専門性を探求する力」や自己内省する「自己教育力」を養成する。</p>				
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探求する力
	◎	○	○	○	○
授業計画					
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者
	<p>I. 実習方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 実習期間 2019年9月24日～2019年12月20日 2) 実習場所 ・精神科病院 2週間。最終日は個別にフィードバック面接を行う 3) 実習の進め方 ・受け持ち患者1名担当し、看護過程を展開する。 ・自己洞察を深め、対象を理解するため、事例カンファレンスを実施し、またプロセスレコードを記入し検討する。 ・実習で体験した内容をふまえて、精神障害を持つ人の権利擁護と倫理的配慮を考察する。 		<p>(予習)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 精神保健福祉に関する知識の確認 2. 主な精神疾患の病態・治療・検査・看護の確認 3. プロセスレコードの記載方法の確認 <p>* 取組時間は24時間が目安</p> <p>(復習)</p> <p>毎日の実習のまとめと、実習の準備を十分に行ってほしい。</p> <p>* 復習取組時間は特に指定しない</p>		石飛 高瀬 高橋

先行履修科目	3年前期に開設するすべての必修科目
テキスト	講義で使用したテキストおよび配布資料
参考文献	適宜、提示します。
評価方法	実習到達度 50%、実習態度 30% (事前課題 15%、実習態度 15%)、参加度 10%、課題レポート 10%
教員等の実務経験	精神科病棟で臨床経験のある教員が、実習指導を担当する。
メッセージ	精神保健看護実習では、看護における倫理観や倫理的行動について十分に学修を深めてほしい。